

交付申請書 兼 誓約書 記入例

様式第1号 (第5条関係)

中小企業DX推進事業補助金交付申請書兼誓約書

令和8年3月2日

朝倉市長

(申請者) 事業所所在地 朝倉市甘木232番地1
本社所在地 朝倉市甘木232番地1
法人名・屋号 株式会社 朝倉市商工観光業
代表者職・氏名 代表取締役社長 朝倉 市子
電話番号 △△△-〇〇〇〇-□□□□

朝倉市内の事業所の
所在地を記入してください

私は、下記誓約・同意事項について誓約補助金の交付を申請します。

なお、申請内容等が事実と反する場合、朝倉市中小企業DX推進事業補助金の返還等貴市が行う一切の措置について異議の申し立てを行いません。

日中に連絡がつく電話番号を
記入してください

申請金額
500,000円

中小企業DX推進事業計画書(様式第2号)の「3 収支計画」の
補助金申請額と一致しているか確認してください

【誓約・同意事項】

- 朝倉市中小企業DX推進事業補助金に係る提出書類に記載した事項について、事実と相違ありません。
- 現在、朝倉市内に事業所を有し、事業により売上を得ています。今後も事業を継続する意思があります。
- 虚偽又は不正が判明した場合は、支援金の返還等に応じるとともに、加算金及び延滞金の支払いに応じます。
- 朝倉市から検査・報告・是正のための措置の求めがあった場合は、これに応じます。
- 申請書類に記載した情報を税情報として使用することに同意します。
- 国、市町村等、他の行政機関等が支援金等の支給要件の該当性を審査するために必要な場合であって、当該審査に必要な範囲で、本補助金の申請書及び提出書類に記載された情報を当該行政機関等の求めに応じて提供することに同意します。
- 朝倉市暴力団排除条例(平成22年朝倉市条例第20号)に基づき、朝倉市の事務又は事業により暴力団を利することとならないように、次のとおり暴力団員はもとより、暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者が私が営む事業から排除しています。
 - 自己又は自社の役員等が、次のいずれにも該当する者ではありません。また、アからキまでに掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体又は個人ではありません。
 - 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)
 - 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)
 - 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
 - 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員を利用している者
 - 暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等、直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
 - 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれらを不当に利用している者
 - 構成員等である事実を知らずに、構成員等を雇用している場合又は暴力的組織若しくは構成員等である事実を知らずに、その者と下請負契約若しくは資材、原材料の購入契約等を締結した場合であっても、当該事実の判明後速やかに、解雇に係る手続や契約の解除など適切な是正措置を行わないときは、当該事実を知らずに行っているものとみなされても異議はありません。
- 事実関係の有無確認のため、役員名簿等の提出を求められたときは、速やかに提出します。